仁勢聲
唐茶の
巻
八編
種彦作
国貞画

仙霞亭梓

とりのこみ

傳紫田舍源氏

種彦作
國貞画

癸巳春發兌

八編 上冊

仙窟堂梓

田舍源氏第八編

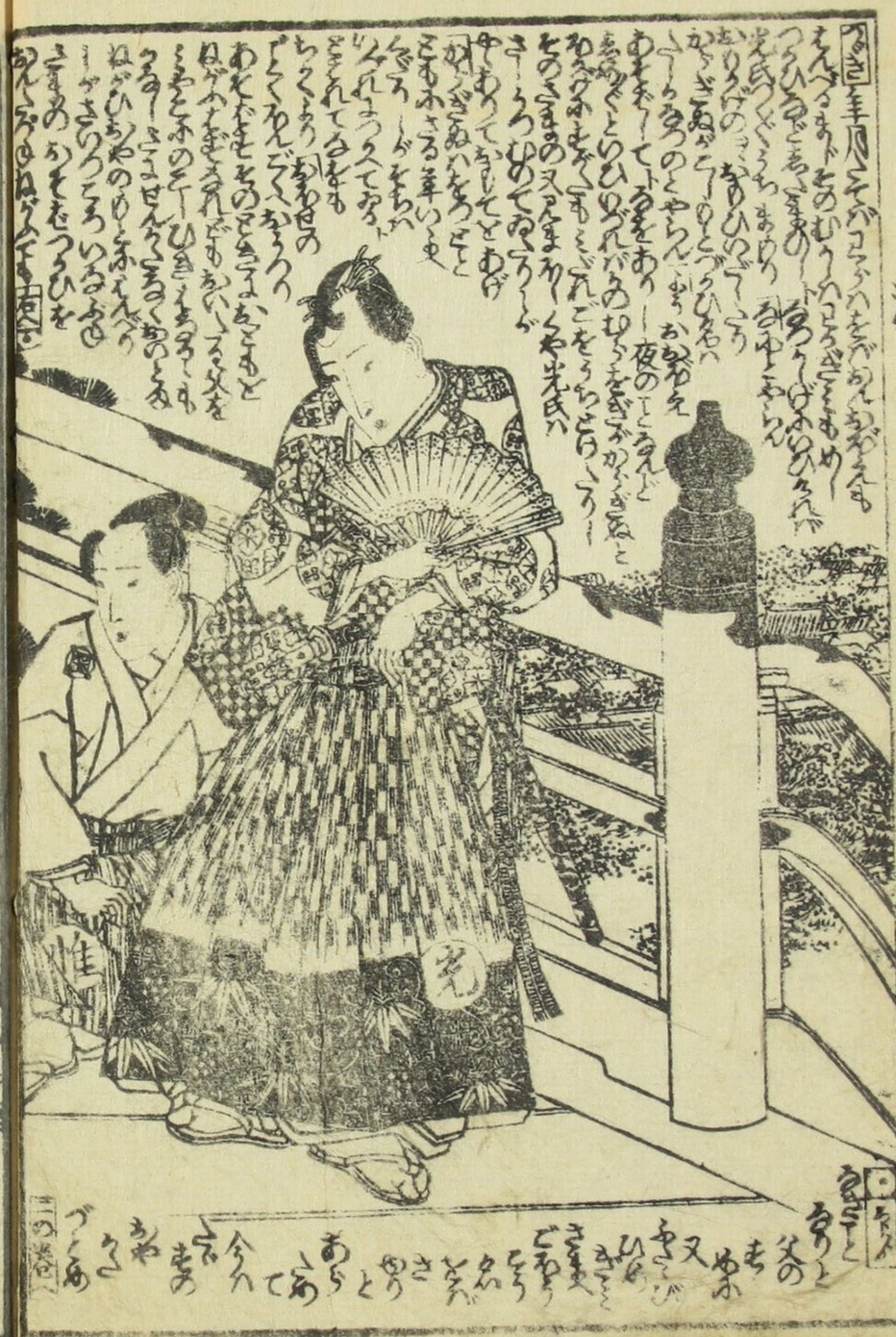
紫式部い觀音の化身なりとも。されば源氏物語ハ半女ハ楊柳のたをやかなるあれが宝珠の光の輝ゆり。弓の張ゆ。劔の切るごとく其逸ハ異なれどもいづれもくくとうるわる千万の御名に聞るめ狂ハ田舍ゆ由縁わる。馬頭と一向信ぜれども。口ハ強く筆ハ走らず机ゆかり面杖ゆ。彼如意輪の姿ゆ。どのやうゆ考へても。念彼觀音の力ゆ。下風寝上るの折言ハるく戸帳ゆ綿とありなべき腸をねるごとく多ハ田舍ゆ綿が精一杯ゆ紫と紅ゆ。の賀ゆ末つむ花の横堅ゆひとつゆ。ふるうくゆる格ゆ嶋等六編より十編九編四五及ゆ。の長戸ゆ。ゆれ織ゆ手ハ石山の鈴の緒ゆや掛て祈らん

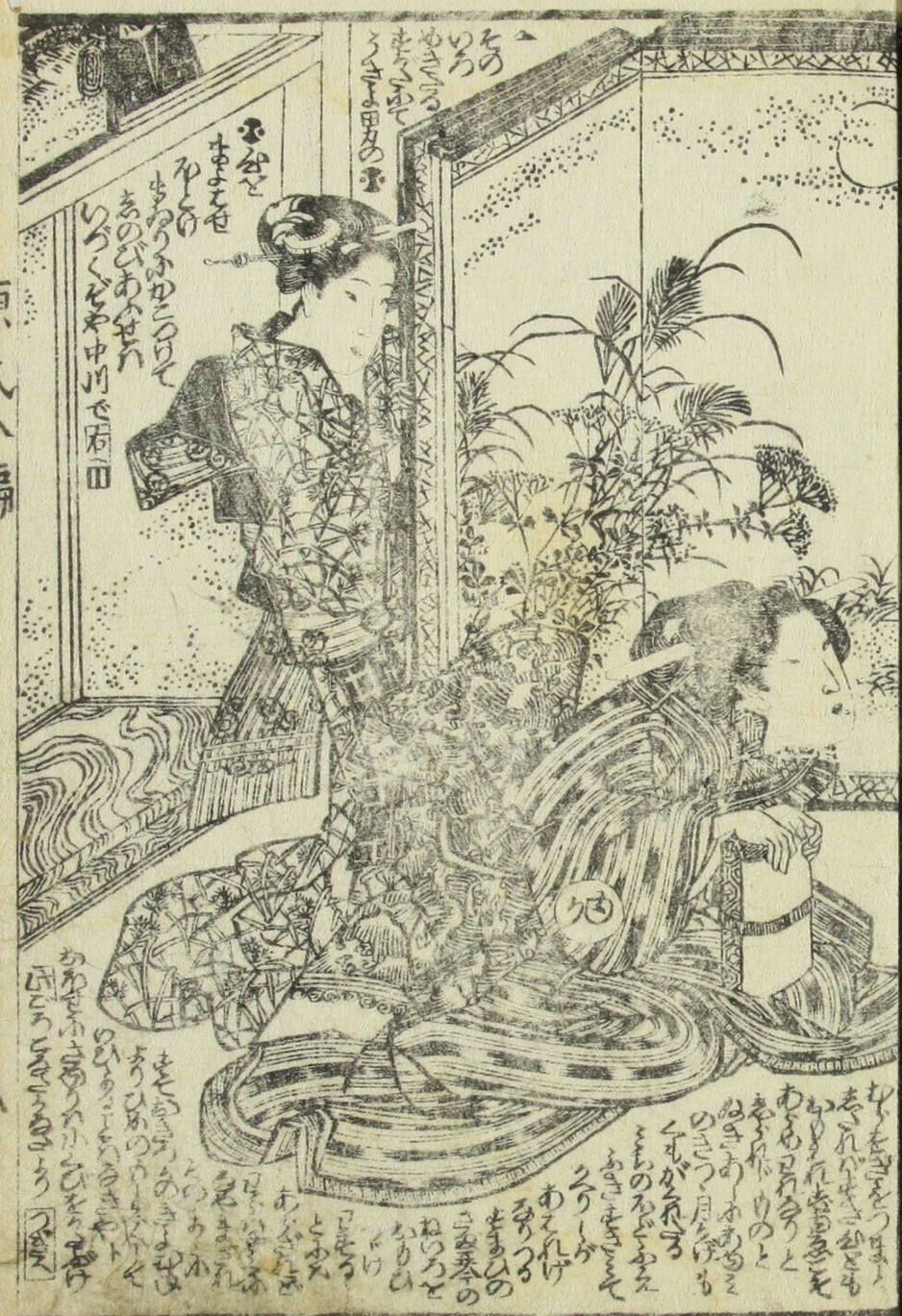
天保四年癸巳發春

柳亭種彦

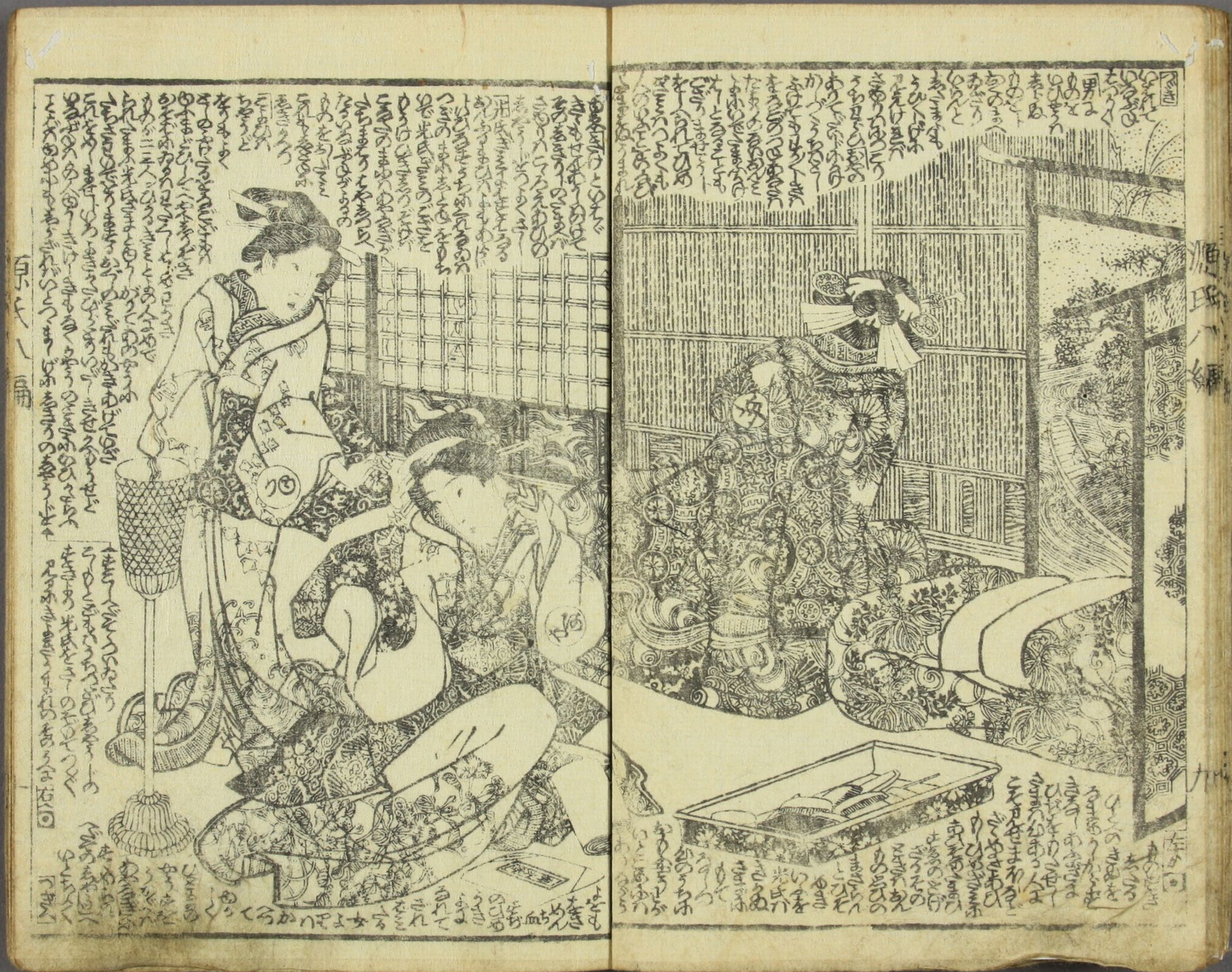
源氏八編
いつもとび
あがるまに
まけ給ちん
光氏十八歳七編と同年
ものふ
いひそ
いとをし
義勝の
嫡女
稲舟姫
稲舟の侍女
花里

四郎正尚
千鶴の方
藤原京殿の女御ゆれ
又兼香殿を兼





光



田舍源氏錦繪

ふぢいあるところ所を追ゝ出板仕ル

今まゝの新橋。室町のやくさの夜景。出来そのゆうべ。ごすの雪。五条の夕ぐれ。あるぎうしゐ

歌川國貞画

前北齊為一翁画　江の島大山往来雙六　柳亭撰

先年より賣ひろめ多く摺出し申候ゆゑ今年改め摺等精密に相製申候

同翁画東海道五十三次錦繪　中奉書八ッ切り

見返し仕紙をえらび摺彩色袋入に製し　おきゆる所年玉等

思召れ御ひろめの程奉願ル

考訂大和詞　柳亭校　弄花翁撰

歌舞妓年代記初編拾遺　柳亭種彦編

故焉馬翁の書のこされし事ども　あつめ古圖古画をおもくうつ

れ無誌を引考へを附し　近刻

江戸通油町地本書林　仙鶴堂　小林喜右衛門印行

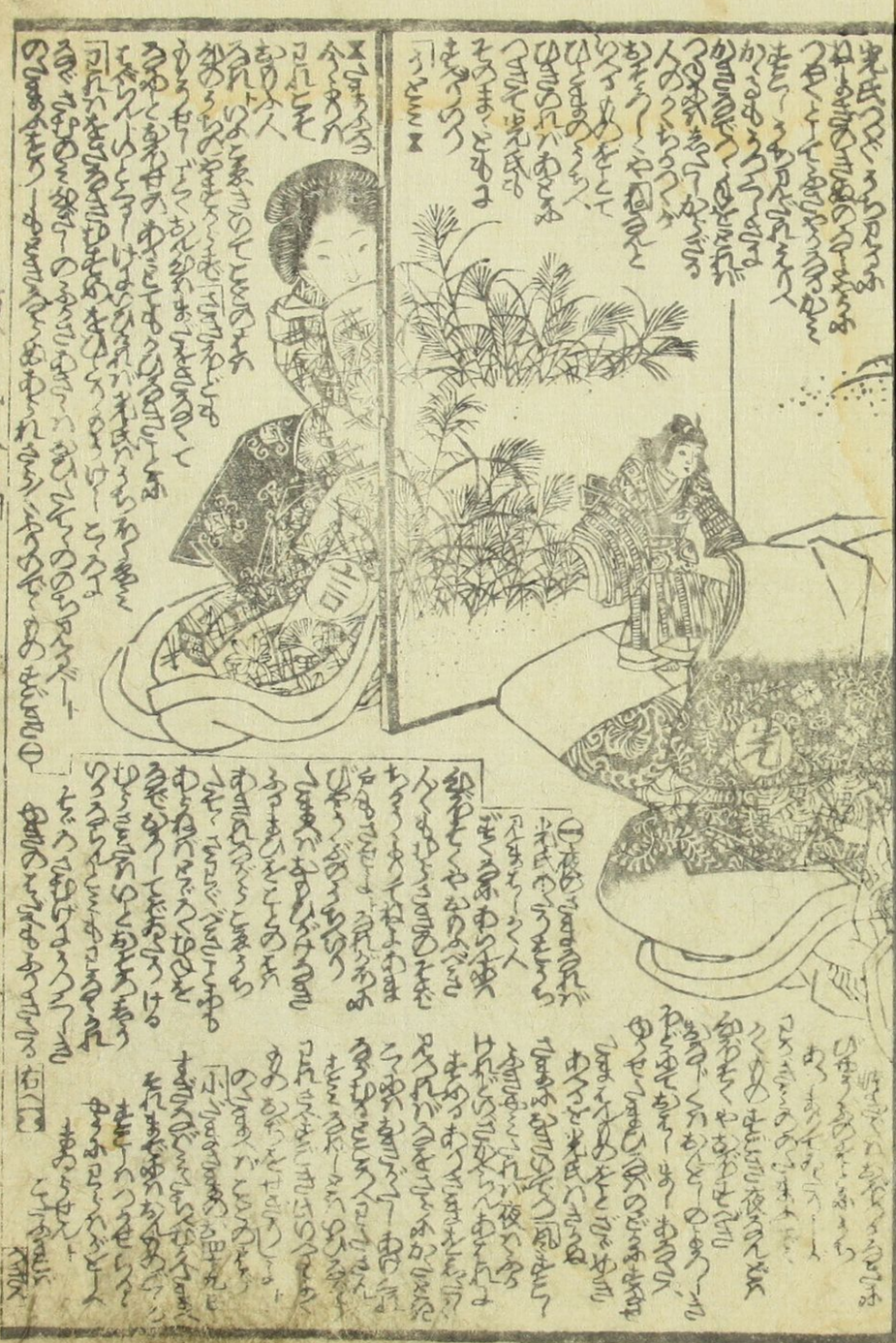
八編下

田舍源氏

八編下冊

種彦作
國貞画

通油町
鶴屋
開板



天保六年乙未春新彫

柳亭種彦作繪草紙三種

偐紫田舎源氏
歌川國貞画
十四編より十七編まで開板仕り

浮浪さとり
歌川貞秀画　六冊

自問自答戯言句合　二冊
歌川國芳狂画

種彦校合

枕琴夢之通路　仙果作　六冊
歌川貞秀画

上州機華綾織　柳亭種彦作　六冊
歌川菊彦画　上同

井筒の乙子　八百屋の娘　**紫房紋多箱**　柏琳作　六冊
歌川貞秀画

むら〜噺火ぐさだゞア　二冊
種彦作　貞秀画

昔むかしきちゝもんく　三冊

芝か〜浦島ぢゝい　三冊

茶書のいろは　二冊

ちりめん袋入小絵ざし

美艶仙女香　仙女香煙草店　南伝馬町三丁目西側　坂本氏
黒油美玄香　早稲屋　藤岳英寿

書物錦繪
團扇地紙　問屋　鶴屋喜右衛門　江戸通油町

雲里の海